学校番号	１０１３

平成 31 度　商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校簿記（実教出版）						
副教材等	問題集、プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・簿記に関する知識と技術を習得しましょう
・新たに学習する内容で覚えることも多いですが、意欲をもって取り組んでください。
・問題集を中心とした学習で知識と技術を身につけ、検定取得を目指し、ビジネスの意義や役割についても理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

簿記に関する知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解し、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	企業の取引を記録・計算・整理する技術である簿記に興味を持ち，簿記の学習に自ら進んで取り組んでいるか。	簿記に関する諸問題の解決を目指し，自ら考えを深め，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断しその成果を的確に表現しているか。	簿記の基礎的・基本的な技術を身に付け，ビジネスの諸活動を計数的に把握し，適切に処理する能力を身に付けているか。	簿記の基礎的･基本的な知識を身に付け，簿記一巡の手続きとその手順を理解しているか。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 単元テスト レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 単元テスト 定期テスト レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 小テスト 単元テスト 定期テスト	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 単元テスト 定期テスト 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第Ⅰ編　簿記の基礎	1　企業の簿記 2　簿記の要素 3　取引と勘定 4　仕訳と転記 5　仕訳帳と総勘定元帳 6　試算表 7　決算	○	○	○	○ ○ ○	a. 企業の簿記の意義と役割を知り，簿記の学習に興味を示し，学習しようとする態度がみられたか。 b. 簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し，それぞれの区分を適切に判断し，適切に表現できたか。 c. 勘定記入法を理解し，仕訳帳・総勘定元帳への記帳を正確におこなえているか。 d. 簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割，簿記一巡の手続きなど，簿記の仕組みを理解したか。	授業観察 ノート 小テスト 定期考査
	第Ⅱ編　取引の記帳	8　現金・預金の記帳 9　商品売買の記帳 10　掛け取引の記帳 11　固定資産の記帳 12　決算（その１）	○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 基本的な決算整理を加えた決算に関心を高め，その決算処理の学習を的確に行おうとしているか。 b. 企業の現金・預金の取引，商品売買の取引，固定資産の取引について，その記帳に関して，自ら考えを深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，表現する能力を身につけたか。 c. 現金・預金の取引，商品売買の取引，掛け取引，固定資産の取引および決算の記録・計算・整理について基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 d. ３分法による記帳法や仕入帳・売上帳，商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。	

二学期	第Ⅲ編　取引の記帳と決算Ⅱ	13　手形取引の記帳 14　有価証券の記帳 15　その他の債権・債務の記帳 16　販売費及び一般管理費の記帳 17　資本金の記帳 18　決算（その２）	○	○	○	○ ○ ○	a. 作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしているか。 b. 手形に関する記帳に自らの思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，表現する能力を身につけたか。 c. 手形の取引，有価証券の取引，資本金の取引および決算の記帳について，基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 d. 手形の取引，有価証券の取引，その他の債権・債務の取引等に関する知識とその記帳法を理解したか。	授業観察 ノート 小テスト 定期考査
	第Ⅳ編　帳簿と伝票　第Ⅴ編　取引の記帳と決算Ⅲ	19　帳簿 20　仕訳伝票と３伝票制 21　５伝票制 22　特殊な商品売買の記帳 23　特殊な手形取引の記帳 24　決算（その３）	○	○	○ ○	○ ○ ○	a. 特殊な商品売買取引や特殊な手形取引に関心を高め，その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 b. ビジネスの諸活動について，どの帳簿または伝票を用いてよいかの判断を通じて，記帳の合理化を考えることができるか。 c. 伝票の起票，集計・転記が適切にできるか。 d. 手形の書き換え，不渡手形等の取引の記帳に関する知識と記帳法を理解したか。	
三学期	第Ⅵ編本支店の会計　Ⅶ編複合仕訳帳制　第Ⅷ編発展編	25　支店の取引 26　本支店の財務諸表合併 27　複合仕訳帳制による記帳 28　設立と開業の記帳 29　剰余金の処分に関する記帳 30　社債の記帳 31　株式会社の税金	○ ○	○	○ ○ ○	○ ○	a. 記帳の合理化の一つとしての複合仕訳帳制による記帳法と転記に関心を高め，積極的に学習を進めようとしているか。 b. 株式会社の取引について，その記帳について自らの思考を深め，適切に判断しているか。 c. 本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書の作成法を身に付けたか。複合仕訳帳制の帳簿ごとの記帳と，二つ以上の帳簿にまたがる取引の記帳および個別転記と合計転記ができるか。 d. 本支店間の取引，支店相互間の取引などに関する知識を理解したか。	授業観察 ノート 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。